



平成 28 年 2 月 17 日

各 位

会 社 名 東日本旅客鉄道株式会社
代表者名 代表取締役社長 富田 哲郎
(コード番号 9020 東証第一部)
問合せ先 広報部長 薬師 晃
(Tel. 03-5334-1300)

新幹線鉄道大規模改修引当金積立計画の提出に関するお知らせ

当社が所有する東北新幹線（東京～盛岡間）及び上越新幹線（大宮～新潟間）について、将来にわたる安定輸送の確保のために大規模改修が必要となることが認められ、平成 27 年 12 月 22 日付で、当社は国土交通大臣より全国新幹線鉄道整備法（以下、「全幹法」という。）第 15 条第 1 項の規定に基づく所有営業主体として指定されました。

これを受けて、本日、全幹法第 16 条第 1 項の規定に基づき、国土交通大臣に対して新幹線鉄道大規模改修引当金積立計画（以下、「引当金積立計画」という。）の申請を行いましたので、お知らせいたします。

1. 引当金積立計画の内容

大規模改修	期 間	平成 43 年 4 月～平成 53 年 3 月（10 年間）
	費用の総額	10,406 億円
引 当 金	積 立 期 間	平成 28 年 4 月～平成 43 年 3 月（15 年間）
	積 立 総 額	3,600 億円

2. 大規模改修の概要（別紙）

対象施設		主な工事内容
橋 り よ う	鋼 橋	支点部改修工
	コンクリート橋	表面改修工、スラブ板改修工、支点部改修工
トンネル		覆工改修工、路盤改修工
土 工		のり面工改修工

3. 引当金の積立て・取崩しによる損益への影響

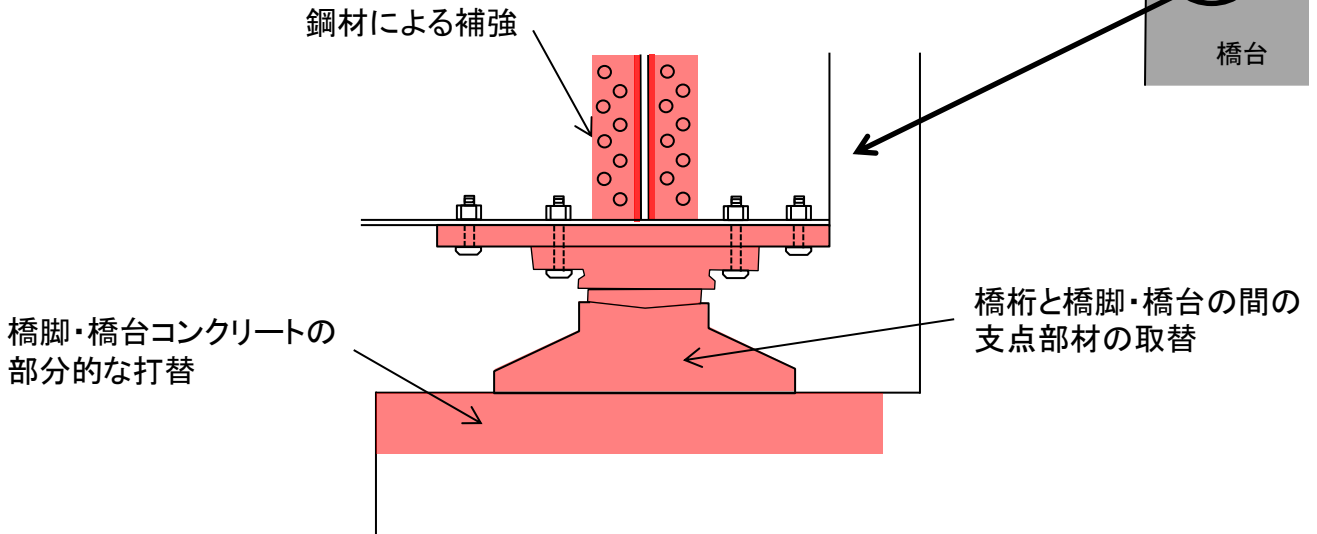
引当金積立計画が承認された場合、平成 28 年度から平成 42 年度の毎年度は、平成 27 年度と比較し、引当金の積立てを行うことにより毎年 240 億円の営業費の増となります。その後、平成 43 年度から平成 52 年度の毎年度は、平成 27 年度と比較し、引当金の取崩しを行うことにより毎年 360 億円の営業費の減となります。

大規模改修の概要

橋りょう

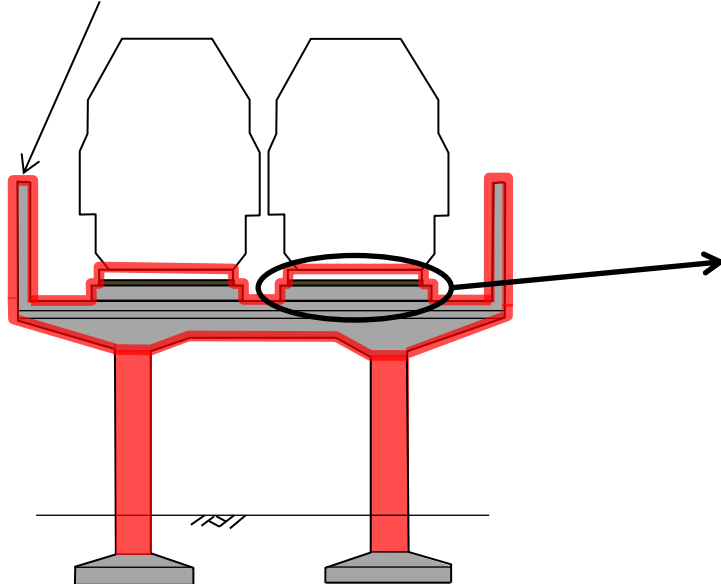
支点部改修工
【鋼橋、コンクリート橋】

<鋼橋の場合>



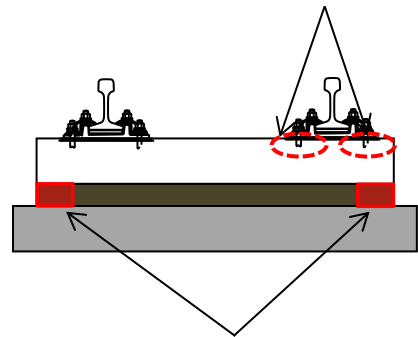
表面改修工
【コンクリート橋】

コンクリートの表面を樹脂等で被覆



スラブ板改修工
【コンクリート橋】

スラブ板に埋め込まれた部材の取替



スラブ板と橋りょうとの間の緩衝材の取替

大規模改修の概要

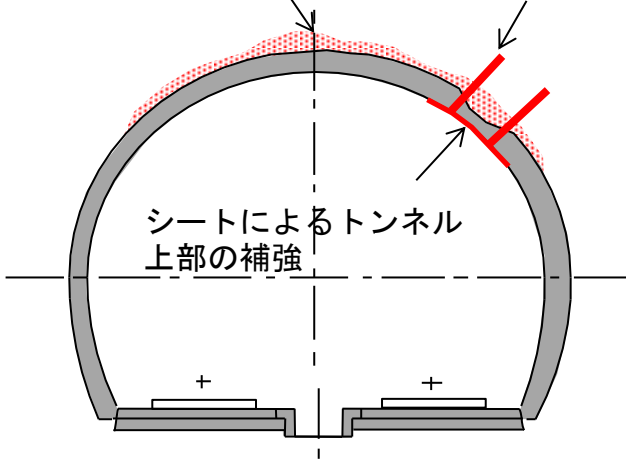
トンネル

覆工改修工

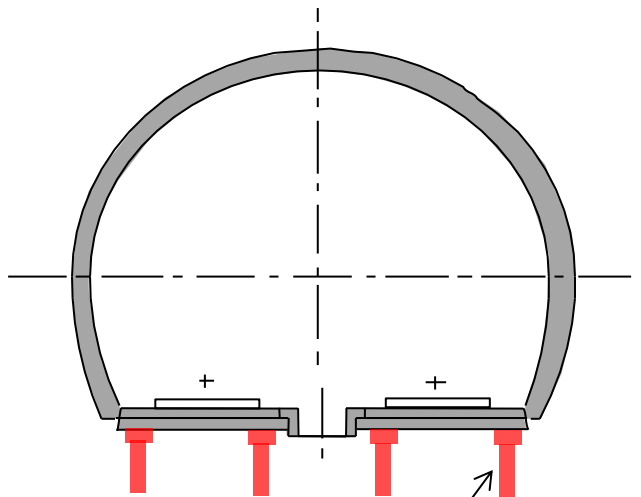
トンネル上部のコンクリート
と地盤の間の空隙に注入

ロックボルト（鉄筋棒）に
よる覆工と地盤の一体化

シートによるトンネル
上部の補強



路盤改修工



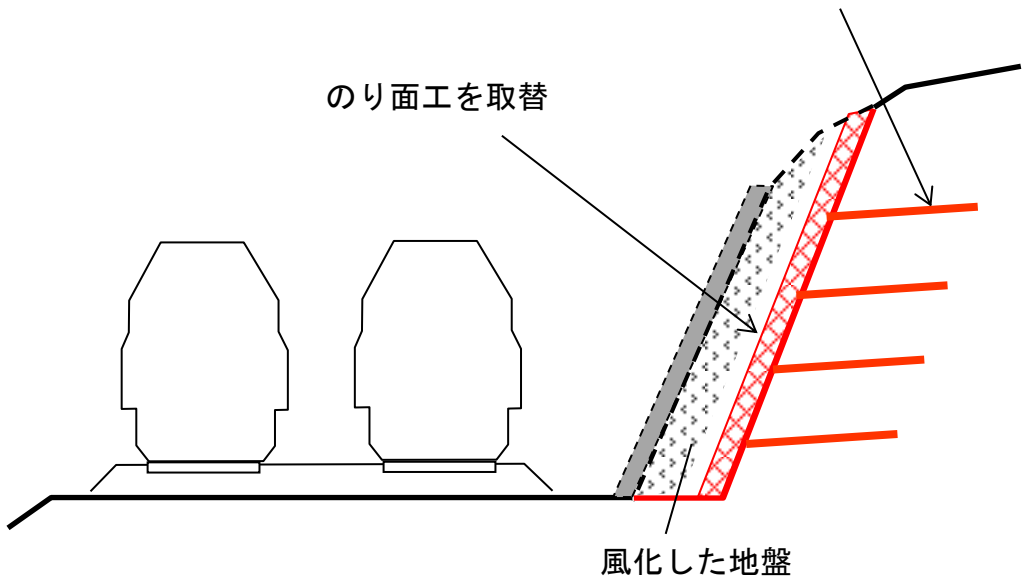
杭によるトンネル下面の支持

土工

のり面工改修工

排水及び補強を兼ねた杭を設置

のり面工を取替



風化した地盤